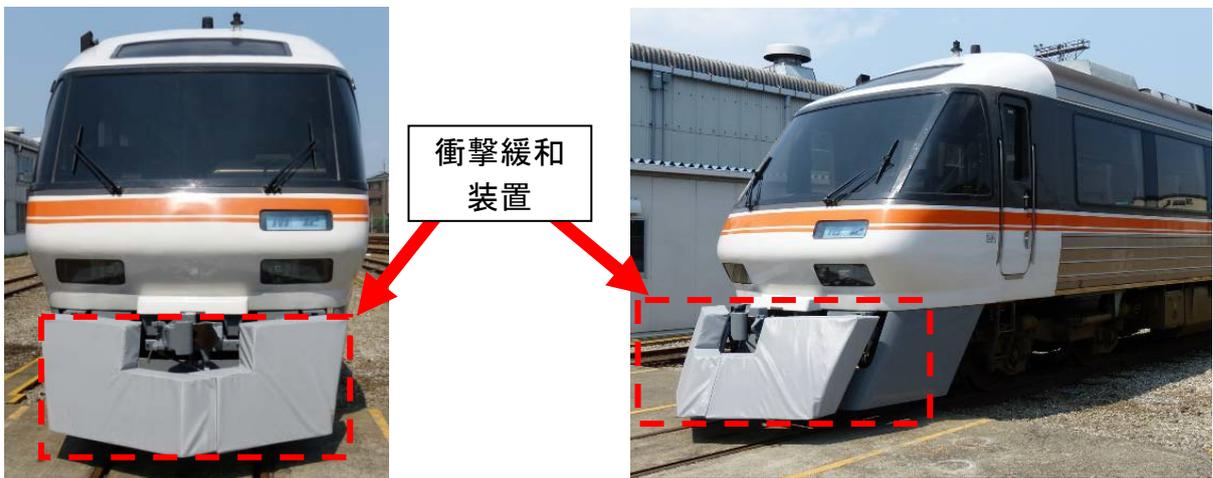


## 在来線の鹿対策（衝撃緩和装置）の試行実績について

近年、鹿との衝突が多数発生し、列車の遅延や車両の破損、対応する社員の負担などが生じています。当社ではこれら問題点の軽減を図ることを目的として、衝突した際に鹿を線路の外に押しのける「衝撃緩和装置」を開発しました。昨年5月より順次、紀勢線を走行する特急「ワイドビュー南紀」の一部車両に取り付け、効果の検証を進めてきましたので、これまでの実績についてお知らせします。

### 1. 衝撃緩和装置の設置状況

- ・ 紀勢線 特急「ワイドビュー南紀」（キハ85系）先頭車6両に設置



※写真は非連結タイプの例

### 2. 衝撃緩和装置の実績（平成24年7月～平成25年11月）

- ・ 鹿を線路外へ押しのける割合が、非設置車両と比較して約13%高い
- ・ 運転再開までに要する時間が、非設置車両と比較して平均約3分短い
- ・ 30分以上の遅延が1件のみ（非設置車両では6件発生）

【参考：紀勢線（キハ85系）の鹿との衝突】

衝撃緩和装置設置の有無	衝突件数	線路外押し分け	平均遅延時分	30分以上遅延
有（設置車両）	75件	64件（85.3%）	15.1分	1件（1.3%）
無（非設置車両）	65件	47件（72.3%）	18.2分	6件（9.2%）
合計	140件	111件（79.3%）	16.6分	7件（5.0%）

### 3. 今後の計画

- ・ 平成26～27年度に高山線、太多線、紀勢線、参宮線に順次投入するキハ25形2次車52両にも設置（分割・併合を考慮した形状）